



本日 修了式

～1年間のご協力に感謝いたします～

春を飛び越し一気に初夏のような陽気になったかと思えば、ひんやりという日もあり、春はまだ足踏みをしているようです。

本日3月22日（金）をもって、令和5年度が終了しました。保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝いたします。

今日の修了式は、全校児童が体育館に揃いました。各種表彰が行われ、呼名に応える元気な良い返事が体育館に響きました。その後代表児童による発表がありました。自分自身をしっかりと見つめた振り返りとこれからへの抱負を力強く語ってくれました。

表彰、発表に対する拍手、全員での校歌斉唱が体育館の中に広がっていきました。先生たちの表情も和んでいて、温かいうれしいひとときでした。



春休みはちょっと心がうきうきしがちです。そして進級、進学に伴う繊細な心の動きも気になります。お子さんのことで気になることは、ぜひ学校へ連絡をください。連絡先・連絡方法は、各学年から出ている『春休みのしおり』でご確認ください。

家庭と学校との連携をさらに深めて…

連絡帳やお電話などで、保護者の皆さんから、いろいろなお考えを聞かせていただくことは、子供たちに接するに当たってとても参考となります。本校職員からも、保護者の皆さんと情報交換をすることへの感謝の声が多く出ています。

学校ではしっかりものというイメージの子が家庭では案外甘えん坊だったり、お家の方からのお電話で、学校で友達関係がうまくいっていないことが分かったりと、ご家庭との情報交換は子供を理解することや声をかける際にとっても役立ちます。

子供は、家庭での姿と学校での姿が違ってくるのは当たり前です。我々大人も職場と家庭での姿は違っています。保護者の皆さんはいかがでしょう？家庭は、ほっとできる場、自分の弱さも出せる空間です。お子さんの家庭での姿と学校での姿をお互いに伝え合って、よさも気になることも共有して「この子のために、どうすることが一番良いことなのか。」を一緒に考え、同じ歩調で向き合っていくと行きたいと考えています。ただし、親としてできること、学校でできることには違いがあります。その違い（方法）を認め合って進めていくことが大切だと考えます。家庭と学校とが、それぞれの思いを語り合い伝え合って、認め合って、さらに連携を深めていきましょう。次年度も引き続きよろしく願いいたします。



昨年の修了式の日には、校庭の桜が5分咲きほどでしたが、今年はまだつぼみが堅いようです。それでも、花壇の花が開いて、学校の周りにも春らしい明るい色合いが増えてきました。暖かな春はもうすぐです。



4月8日（月）子供たちが元気で笑顔で学校に来るのを楽しみに待っています。